

会長 『黄綬褒章』 受章

平成27年「秋の褒章」に於いて、
鈴木会長が『黄綬褒章』受章の栄に浴しました。

皆様に謹んでお喜びをご報告申し上げます。

平成27年「秋の褒章」受章は、10月23日(金)に
閣議決定され、11月3日(文化の日)付で受章されます。

褒章伝達式は11月13日(金)午前に経済産業省にて執り行われる予定
で、午後には皇居にて、天皇陛下に拝謁、お言葉を賜られるとの事です。

『黄綬褒章』は、永年に亘り、業務に精励し、
人々の模範たるべき者に対し、黄色の綬と共に授与されます。

この栄誉は会長のみならず、私達社員全員に取りましても

非常に嬉しい慶事であります。

受賞者

【黄綬褒章】 鈴木 佐太郎
ユニテックホールディングス株式会社 代表取締役
株式会社ユニテック 会長

功績概要

情報産業の黎明期であった昭和55年(1980年)に、いち早くベンチャービジネス家として起業(ユニテックを創業)し、農業分野や福祉分野における独自の情報システムを設計するなど情報サービスを展開し、地域情報産業界の振興の先鞭をつけ、自治体等の情報化にも多いに貢献した。

また、全国に先駆けて、情報産業の中小企業連携組織化を図り、産業界での位置付けを確立、組合の運営、技術者育成等に尽力し、地域経済の振興発展、雇用の拡大等に多大なる功績を上げた事等が、受章の大きな理由であり、会長は、静岡県下に於いて、情報関連分野での初の受章者となります。

会長の主な受賞・表彰

平成11年12月3日

静岡県中小企業団体中央会会長表彰(組合発展及び地域情報化振興功労)

平成12年1月21日

静岡県知事表彰(産業振興功労)

黄綬 業務精励 (情報サービス業)

鈴木 佐太郎さん



ソフト産業をけん引

「ソフトウェア産業を静岡の新しい地場産業にするという目標に向かってきた。いま、静岡の技術は国内外の大手にも負けない」。受章を機にそう振り返り、同僚、家族、鍛え合った同業者への感謝の気持ちを表す。

11年間の会社勤務を経て1980年にソフトウェア開発のユニテックを創業した。県ソフトウェア事業協同組合理事長も長年務め、ベンチャーの先駆けとして県内ソフト産業をけん引してきた。

起業の苦しみと喜びを知る立場。創業を支える社会の仕組みは、かつてに比べ格段に手厚くなった。「最終的に問われるのは情熱。技術力や経営力よりも人間力だと思う」と若者の奮起を期待する。